

# 社会科学学習指導案

指導者 石津 誠

- 1 日 時 平成 24 年 6 月 18 日 (月)
- 2 学 年 第 3 学年 2 組 23 名 [3 年 2 組教室]
- 3 単 元 名 市の様子 ～瀬戸内海と山に囲まれた尾道市～

## 4 単元設定の理由

- 本単元は、小学校学習指導要領第 3 学年及び第 4 学年の目標と内容に基づき設定した。学習指導要領には以下のように示されている。

- (1) 自分達の住んでいる身近な地域や市（区、町、村）について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。
- ア 身近な地域や市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

本単元は、尾道市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを観察したり白地図にまとめたりして調べることを通して、自分たちの住んでいる尾道市の特色やよさが分かるようにすることをねらいとしている。

本単元で題材とする尾道市は、市街地、干拓によってできた東部の平野部、北部の山間地域、南部の島嶼部など多様な地域的特色をもつ小規模都市である。交通では、在来国道 2 号線やバイパスの 2 号線、山陽自動車道などが通っている。市街地から東部の平野部にかけての地域では、大きな道路沿いに多くの建物があり、公共施設も多く存在している。市街地では古くから残る建物が多く見られる一方、干拓によってできた東部では比較的新しい建物が建っているなどの特徴がみられる。北部の山間地域や南部の島嶼部では、川沿いや山の傾斜など自然の地形を生かしながら田や畑、果樹園などとして工夫して土地を利用している。このように、尾道市では地域によって様々な特徴をもち、地形を利用している様子を見ることができる。

本単元の前には、「わたしのまちみんなのまち」の単元で、身近な地域についての学習をしている。ここでは、身近な地域について、見学を行い、様子は場所によって異なることを学習している。その際、家、お店、道路などに着目させて見学を行っている。本単元では、市全体を扱うことから、さらに様々な地域の特徴を扱うこととなる。前単元で見学した視点や気づきを活かしながら、学習を進めていきたい。また、本単元は「県の様子」につながるものである。市の様子を調査するときの調査の視点や土地利用の様子は、「県の様子」を調べる際の視点や土地利用を考える手掛かりとなるものである。

以上のことを踏まえ、本単元を設定する。

- 本学級の児童は、これまで学校の周りを観察したり、白地図にまとめたりする活動を通して、学校の周りは地域によって土地利用の様子が違うことやさまざまな建物があることを理解することができた。

本学級の児童にアンケートを行ったところ、「社会の授業が好きですか」という質問に対して、23人中17人の児童が楽しいと答えている。楽しいと答えた理由には、社会科の授業で学校の周りの様子を実際に見ることが楽しいこと、地図記号を覚えることが楽しいと答えている。

平成17・18年に尾道に編入した地域（御調町、向島町、因島市、瀬戸田町）に行ったことがあるかという質問に対しては、行ったことがあると答えた児童は、半数程度にとどまっている。児童のイメージする尾道市の様子は、校区である尾道駅周辺や、住宅やお店が多くある東尾道駅周辺のみ留まっており、尾道市全体を捉えるまでには至っていない。

また、本学級の児童は、これまで根拠を示しながら自分の考えを相手に伝えることを意識して学習に取り組んできた。根拠をもって自分の意見を持つことができる児童は増えてきた。しかし、相手の意見を自分の意見と結びつけながら聞くことはできていない状況がある。

- 指導に当たっては、次の手立てを行いながら単元を構成する。

#### ① 児童の理解を深めるための写真やビデオなどの活用

行ったことのない場所については、その様子をイメージすることが難しいと考えられる。写真やビデオを活用することで、その場所へのイメージを持たせ、地図などの資料を読み取る際の手がかりとなるようにする。

#### ② 地図の色分けによる資料の読み取り

地図記号をもとに、建物、田、果樹園などを色分けすることにより、それぞれの地域にどのように分布しているか理解し、地形と土地利用の関係を捉えやすくする。

#### ③ 意見の交流を取り入れた言語活動の充実

資料から読み取ったことを相手に表現したり、他者の考えを聞きながら、自分の考えを深めたりすることができるようにする。そのために、自分の考えを深める時間をとり、意見の交流を活発に行えるようにする。

#### ④ 自分の考えを表現するためのまとめの活動

単元の最後には、「尾道市の紹介地図」を作成する。その地域を知らない人に、何を紹介したいかについて、学習したことをもとに考えさせることにより、尾道の特色に対する自分の考えを表現しやすくする。また、毎時間ごとに自分の考えをノートに書かせていくことで、自分の考えを表現することに慣れさせておく。

### 5 研究主題との関わり

- (1) 本単元では、児童が自分の考えを持ち、意見を交流する場を設定する。それぞれの考えを話したり、相手の意見を聞いたりしながら、考えを深めることができるようにする。
- (2) 本単元では、単元の終わりに尾道市の紹介パンフレットを作成し、発表し合う活動を設定する。その地域を知らない人に紹介するという相手意識を持たせることで、市の様子を調べようとする意欲を高め、自分の考えを相手にわかりやすく、進んで表現しようとする力を育成する。

## 6 単元の目標

○市の様子に関心をもち、地図や写真を比較しながら読み取り、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて意欲的に調べようとしている。

○市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて、地図や写真などの資料から読み取ったことをまとめたり、自分の考えを適切に表現することができる。

## 7 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
単元の評価規準	○市の様子に関心をもち、地図や写真を比較しながら読み取り、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて意欲的に調べようとしている。	○市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて学習問題や調べる観点を考えるとともに、市の特色やよさ、場所によって地域の様子には違いがあることについて地形や土地利用の様子を関連づけて考えている	○観点に基づいて地図や写真などの資料を調べ、市の様子について必要な情報を集めて読み取るとともに、調べたことを主な地図記号や四方位などを用いて白地図等にまとめている。	○市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物の場所と様子や、地域の様子は場所によって違いがあることを理解している。
学習活動における具体的評価規準	○市にはさまざまな地域があることに興味をもち、その様子を進んで調べようとしている。 ○友達の紹介を聞き、様々な地域の違いを進んで理解しようとしている。	○異なる地域の様子を比較して、共通する所や違う所をもとに、調べる視点を決めている。 ○地図や写真などの資料から、地域の様子には、違いがあることに気づき、土地利用の仕方の工夫について考えている。	○資料からそれぞれの場所の様子を読み取り、読み取ったことを地図やノートにまとめている。 ○これまでの資料から読み取ったことをパンフレットにまとめている。	○それぞれの場所の様子や、場所による特色を理解している。 ○紹介したい場所の様子や場所による特色を理解している。

## 8 指導計画（全9時間）

次	学 習 活 動	評 価					評価方法
		関	思	技	知	評価規準	
一	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">わたしたちの住む尾道市は、どのような様子なのだろうか</div> <p>尾道市内の地図や写真を見て、自分の家を探し、それぞれの場所の違いについて話し合う。(2)</p>	○				○ 市にはさまざまな地域があることに興味をもち、その様子を進んで調べようとしている。	行動観察

		尾道市のそれぞれの地域は、どんな様子だろうか					
二	地域の様子はどのような点が異なっているかを考え、調べる際の視点とする。(1)			<input type="checkbox"/>		○ 異なる地域の様子を比較して、共通する所や違う所をもとに、調べる視点を決めている。	ノート 行動観察
	「中心部の市街地」, 「東部の平野部」,「北部 の山間地域」,「南部の島 嶼」の様子について資料 を読み取り、読み取った ことについて話し合う。 (4, 本時 6/9)			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○ 地図や写真などの資料から、地域の様子には、違いがあることに気づき、土地利用の仕方の工夫について考えている。 ○ 資料からそれぞれの場所の様子を読み取り、読み取ったことをノートにまとめている。 ○ それぞれの場所の様子や、場所による特色を理解している。	ノート 行動観察
		学校に来た人に、尾道市を紹介しよう。					
三	尾道市の紹介したい場所を決め、紹介のためのパンフレットを作成する。(1)			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○ これまでの資料から読み取ったことをパンフレットにまとめている。 ○ 紹介したい場所の様子や場所による特色を理解している。	パンフレット 行動観察
	作成したパンフレットをもとに発表し合い、学習をまとめる。(1)	<input type="checkbox"/>				○ 友達の紹介を聞き、様々な地域の違いを進んで理解しようとしている。	パンフレット 行動観察

## 9 本時の展開

### (1)本時の目標

- 地図や写真などの資料から、地形と土地利用の仕方に関連づけて考えることができる。

【思考・判断】

### (2)観点別評価規準

- 地図や写真などの資料から、地形と土地利用の仕方について、自分なりの考えをもっている。

【思考・判断】

### (3)本時のポイント

地図の中から田の部分を探し、それが川の両側に多く分布していることに気づかせ、地形と土地利用が深く関わっていることを考えさせる。

### (4)準備物

写真, 地図, 実物投影機

(5)学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 尾道市全体の地図を提示し、本時に調べる北部の部分を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの学習を想起し、調べる視点を確認する。</li> <li>調べる視点：「建物」「山・川・池」「田・畑」「道路」「古い建物」「公共施設」</li> </ul>	
<p>地図の中から尾道市北部の特徴を見つけよう。</p>		
<p>2 地図を配布し、地図記号を見ながら土地利用の方法に応じて色を塗る。</p> <p>3 色を塗った地図を見て、調べる視点についてどのような特徴があるかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図は、北部のうちの一部分を拡大したものをを用いる。</li> <li>○ 地図には「建物」「川」「田」「道路」の部分があるため、それぞれに色を指定する。</li> <li>○ 調べる視点のそれぞれの項目が多いか少ないかを考えるようにする。</li> <li>○ 「田」と「川」に関連があることに気付かせるため、調べる視点の項目の分布に注目させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図や写真などの資料から、地形と土地利用の仕方について、自分なりの考えをもっている。(ノート)</li> </ul>
4 ノートに考えた意見を交流し、土地利用の工夫について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの項目について、北部での特徴をまとめる。(建物が少ない、川がある、田が多い、古い建物や公共施設が少ない)</li> <li>○関連があると考えた児童の意見を発表させ、本当に関連があるかを全体で考える。その際には、前の発言につなげて発言ができるように、賛成意見や反対意見をたずねるようにする。</li> </ul>	
<p>5 色分けをした地図の周りの部分の地図を配布し、同じ特徴が見られるかどうかを検証する。</p> <p>6 まとめとふりかえりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班ごとに別の地図を配布し、色分けをさせる。</li> <li>○ 複数の地図を見て、どの地図でも同じ特徴が見られることを確認する。</li> <li>○ 本時に学習したことを、児童の言葉を用いてまとめる。</li> </ul>	